

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
総合探究Ⅱ	普通科2年	1	学校独自に設定	学校独自に設定
科目の概要と目標	探究の見方・考え方を働かせ、社会の一員として将来自分が何をすべきかについて考え、物事の本質を問い直しながら、他者と共によりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。			
単元	学習内容		到達度目標	
「Focus: 問いを磨く」	年間計画共有／グループ・テーマ再確認		年間の流れを理解し、テーマを再確認する	
	テーマの理数探究化①：問いの焦点化		テーマを検証可能な問いに絞り込む	
	テーマの理数探究化②：仮説と変数整理		仮説と変数の関係を整理する	
	検証計画立案（方法・指標・データ源）		検証方法と必要なデータを計画する	
	探究計画発表（科学的妥当性レビュー）		探究計画を発表し、改善点を見つける	
	データ収集準備（役割分担・調査設計）		調査に向けた役割と手順を整える	
	アンケート・測定講座（統計基礎導入）		調査や測定の基本的な考え方を理解する	
	進路探訪事前学習①（探究と学問接続）		探究と学問・進路とのつながりを考える	
	進路探訪事前学習②（研究倫理・外部連携）		研究倫理と外部連携の意義を理解する	
	調査活動実施（データ収集・初期分析）		必要なデータを集め、傾向をつかむ	
	集中探究期間（企業・大学連携／実験・制作）		外部と連携し、検証や制作を進める	
	夏季成果整理／仮説の再検討		結果を整理し、仮説を見直す	
「Evidence: 根拠と語る」	中間レビュー（方向修正と追加調査）		助言をもとに探究の方向を修正する	
	理数探究深化①：追加実験・再調査計画		追加調査の計画を立て、検証を深める	
	理数探究深化②：分析手法の高度化		より適切な分析方法を選び、活用する	
	社会実装設計①（解決策の構造化）		課題解決の方法を構造的に整理する	
	社会実装設計②（プロトタイプ構想）		解決策の試作品や具体案を考える	
	検証と改善（データ再取得）		追加データをもとに改善点を明確にする	
	成果統合（論拠とストーリー整理）		問い・根拠・結論の流れを整理する	
	成果物改善（発表資料・データ提示）		データが伝わる成果物に改善する	
	相互評価（ピアレビュー）		他者の意見を受け、探究を見直す	
	発表準備①（成果の可視化）		成果を図表や資料で可視化する	
	発表準備②（プレゼン構成）		根拠が伝わる発表構成を考える	
リハーサルと最終改善		発表を見直し、完成度を高める		
「Impact: 社会へ届かせる」	成果発表会準備（展示・動画等）		成果を多様な形で表現する準備を行う	
	プレゼン技法強化（TED型）		聞き手に伝わる発表技法を身につける	
	最終リハーサル・総括調整		根拠と提案を統合し、発表を仕上げる	
	最終成果報告会（地域・外部評価者）		探究成果を地域や外部に向けて発信する	
	探究成果の文章化①（論文・小論文）		探究成果を文章として論理的にまとめる	
	探究成果の文章化②		探究の過程と成長を振り返る	
	次年度への接続（3年次ポートフォリオ化）		探究の成果を次の学びや進路につなげる	